



ほんもの たし 本物で確かめる

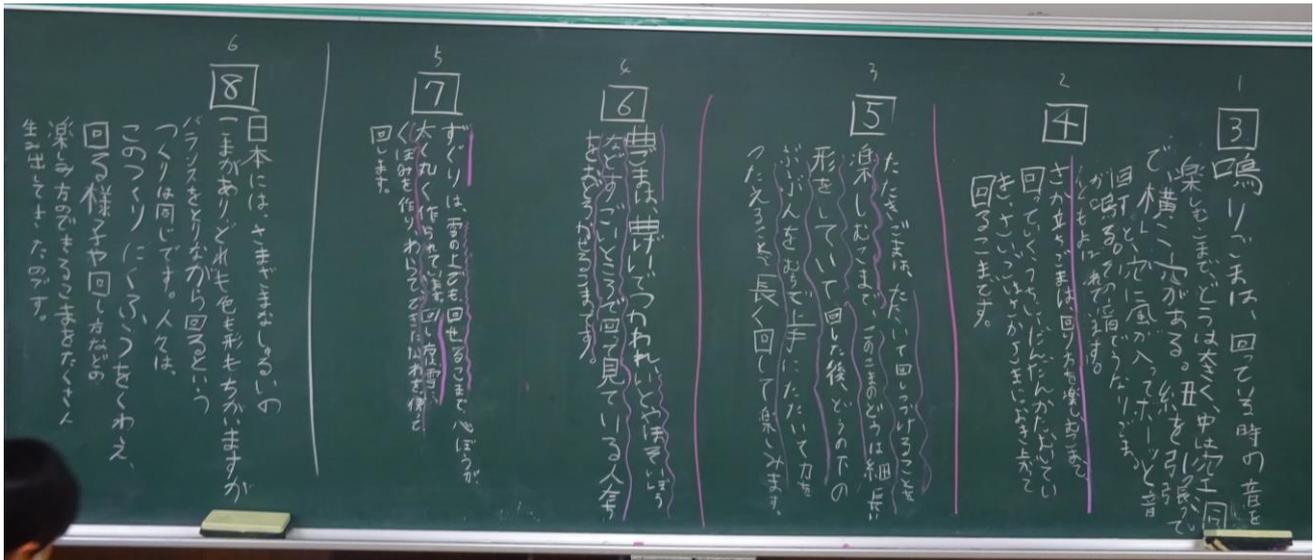
2024/5/31

No.19

岩瀬和信

「こまを^{たの}楽しむ」という^{ぶんしやう}文章の^よ読み取りです。

^{はん}班ごとに^{だんらく}段落をひとつずつ^よ読み取り、「その段落に^{なに}何が^か書いてあるのか」を^{こくばん}黒板に^か書きま
した。



さて、^{じゆぎやう}授業の後半は、^{こうはん}自分たちが^{じぶん}読み取った^{ないよう}内容が、^{じっさい}実際にはどうということなのか、本
物の^{ほん}こまで^ま確かめていきます。



「^{まわ}回しても^な鳴らないなあ？」

1班の^{はん}読み取りによれば、^{ひも}鳴りごまは「^ひ紐を^ひ引っ張って^{あな}回すと、^{かせ}穴に風
が^{はい}入って^{おと}ポーッと音が鳴る」ということでしたが。

「じゃ、^{くち}穴のところを^ふ口で吹いてみようか」



^{きやうしつじゆう}教室中が^{たいかい}こま回し大会になってきました。

「^{よく}ぼく、^{ようちえん}幼稚園のとき、^いこま回し大会で²2位だったんだけど、^{なん}なん
か^{でき}できなくなっちゃった。³3年も^ややってないからなあ・・・」

^{かた}読み取った^{なんど}やり方を^{ため}何度も試しています。

教育とは効率を追い求めれば求めるほど質が低下するものだ。

(イアン・レズリー)